

小平市地域包括ケア推進計画（素案）に対する市民意見公募の実施結果

1 実施の概要

期 間	平成29年11月18日(土)～12月17日(日)	
意見応募者数	3人 市内在住 3人 男性2人、女性1人	
提出の方法	持参	1人
	送付	—
	ファックス	—
	メール	1人
	市ホームページ	1人

2 意見等に対する対応状況

反映済み	3件
反映する	0件
反映しない	0件
参考意見	8件
合計	11件

3 意見等の内容による分類

第1章 計画策定にあたって	1件
第2章 市の現状と課題	1件
第3章 計画の基本的な考え方	0件
第4章 施策の取組	5件
第5章 介護保険事業の見込量と介護保険料	0件
第6章 計画の推進体制	0件
意見公募の実施について	4件
合計	11件

4 意見等への対応

第1章 計画の策定にあたって

○地域共生社会の実現に向けて

	意見等の概要	意見等への対応	反映状況
①	<p>前期にはなかった「地域共生社会」という単語が入った。地域包括ケアに障害者福祉も統合しようということなのだろう。だが、高齢者福祉と障害者福祉とでは、歴史的背景や現場のノウハウがかなり違う。「共生」ということばで強引にくくっただけでは絶対にうまくいかないし、そのことで新たなリスクが生じる。</p> <p>その問題を市としてどう考え、どう対処しようとしているのか。</p>	<p>地域共生社会の実現に向けた取組につきましては、素案にお示ししたとおり、国の動向を注視してまいります。</p> <p>また、先般公布された地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律では、地域共生社会の実現に向けた取組として、新たに共生型サービスが位置づけられております。</p> <p>これにより、障害福祉サービスを利用していた方が、65歳に到達以降も引き続き同じ事業所をご利用することが可能になるものと考えております。</p>	参考意見

第2章 市の現状と課題

	意見等の概要	意見等への対応	反映状況
①	第6期版の推計値と第7期版の実績値に食い違いがある。このことについて原因を分析し結果を今後の施策に反映させてほしい。	各統計資料の作成に当たりましては、その時点での最新のデータに基づき、過去の推計におけるかい離の状況を考慮しながら、推計を行っておりますが、社会情勢等の変化などにより、予測と異なる結果となる可能性もあります。 今後も引き続き、可能な限り正確な推計となるよう努めてまいります。	参考意見

第4章 施策の取組

○地域づくり・日常生活支援

	意見等の概要	意見等への対応	反映状況
①	コミュニティタクシーは高齢者の移動手段として極めて有効だが、小平市の道路事情は良くないため高齢者が多い地域に通したくても通せないという現実がある。都市開発部に対し、都市計画道路、生活道路の整備を進めるように進言して頂きたい。	高齢者が住み続けることが可能なまちづくりを実現できるよう、関係部署との連携に努めてまいります。	参考意見
②	いろいろな立場の方の居場所づくりをすすめてほしい。	サロン、地域の通いの場への支援など、地域づくりの施策に取り組むこととしております。	反映済み

○認知症施策の推進

	意見等の概要	意見等への対応	反映状況
①	小平市でも認知症高齢者の増加は見込まれます。多くの人々に認知症サポーターになっていただくことが急務です。他市では小学生にもわかりやすく認知症の講義をして理解を深め、広げてもらっています。ぜひ小平市でも実施をしてほしい。	市内小学校を対象とした認知症サポーター養成講座につきましては、小平市においても実施しております。(平成28年度実績：3回、281人)	参考意見

○在宅医療と介護の連携の推進

	意見等の概要	意見等への対応	反映状況
①	「住み慣れた小平でいきいきと笑顔で暮らせる」街づくりを強力に推進してほしい。住み慣れた所で生き、住み慣れた所で逝くために在宅医療をすすめ、広げてほしい。	小平市医師会と連携し、研修会や協議会を通じた関係者間の連携強化を図るとともに、在宅医療を必要とする方に必要なサービスが行き届くよう、必要な支援体制の構築に努めております。	反映済み

○介護サービスの充実

	意見等の概要	意見等への対応	反映状況
①	デイサービスやリハビリ施設は増えてきている傾向ですが特別養護老人ホームへの入居待ちは解消できるのでしょうか。今後も待ちが増える可能性があるのでは解消を目指した計画をと感じています。	入所申込者数の状況などを勘案しながら、必要な数の特別養護老人ホームの整備目標を設定しております。	反映済み

◆意見公募の実施について

	意見等の概要	意見等への対応	反映状況
①	写真、イラスト等をもっと活用するなど、市民が具体的な意見を言いやすくなるような資料の作り方を工夫したらどうか。	次回の意見公募の際の参考とさせていただきます。	参考意見
②	前回の計画書と比較してどこが変わったのか一目でわからない。従来の方針がそのまま継続する部分は、形式（色、形、表現方法など）をそのままとし、方針が変わった施策、新しい施策の部分のみ、形式を変えるようにしてほしい。	前期計画をそのまま踏襲してはおりませんので、ご意見のとおり対応することは困難ですが、より分かりやすい計画書となるよう努めてまいります。	
③	同時期に一斉に同じ福祉分野の計画素案が発表され意見が求められるが、読む側にとって大変な負担。事前に各分野に共通する上位概念の素案を発表したのち各論（高齢者、障害者、生活困窮者など）を発表することはできないものか？共通する部分の相互参照インデックスを付けてほしい。	各計画の策定経過が異なるため、ご意見のとおり対応することは困難ですが、次回の意見公募の際には、素案の内容をより多くの市民の皆様にご理解いただけるよう工夫してまいります。	
④	素案についての市民懇談会を行うべきだ。	過去の計画策定に係る市民懇談会の開催状況を踏まえ、今回は高齢者支援課で実施している介護予防講座やイベントなどの事業において、合計7回、延べ333人の方に対し、意見公募の実施の周知を行いました。 次回の意見公募の際には、素案の内容をより多くの市民の皆様にご理解いただけるよう、周知のあり方と意見聴取の方法等について検討いたします。	